



第9回全共会場風景

### Q 国へ強く安定対策の要望を A 価格の変動を注視しながら

永井 章議員  
畜産農家は、輸入飼料価格の高騰と原油価格の値上がり等によって厳しい経営が続いています。酪農振興では、国の飼料価格安定制度の補償価格の充実と乳価の引き上げを強く要望すべきです。また、町独自の自給飼料対策の考えは、町内四酪農協の統一に向け指導されるべきです。

山崎英樹町長  
国・県では、価格安定制度における補填金の早期支払い、運転資金の利用促進や資金貸付制度などが行われています。今後、価格の変動に注視しながら、さらに対策が必要になれば関係機関と連携し、要望します。また、自給飼料生産のための機械整備に助成をし、生産費の軽減を図ります。四酪農協はそれぞれ主体を持って運営されているので、各組合の運営を見守りながら必要に応じて対応します。



### Q 山林を生かした対策を A 山林の利用は有効

永井議員  
和牛対策では、山林を生かし、放牧場を設置し畜産振興を図るべきです。また、昨年の全国和牛能力共進会では島根和牛は残念な成績でした。次期長崎全共への対策は、  
山崎町長  
赤名スキー場周辺を放牧場として整備をし、利用も進んでいます。山林の利用は有効な手段なので、必要性を感じています。次期全共対策については、県外優良雌牛の導入など、本町の和牛改良に努めます。



放牧場

# 3月定例会 町政を問う 一般質問

### Q 住民本位の後期高齢者医療制度を A 住民の実態を反映

伊藤好晴議員  
保険証は、高齢者の命の綱です。資格喪失による資格証の発行は絶対しないこと、また、町独自の減免制度の導入を求めます。  
制度の運用には、広域連合議員の増員や審議会などの住民意見が反映できる取り組みを広域連合に要望すべきです。



山崎英樹町長  
資格証の発行には、滞納の理由を十分くみとり、機械的な対応はしません。広域連合による、収入が著しく減少した場合の保険料の徴収猶予や減免制度により措置します。

住民の実態を反映できる形づくりに努力します。



楽しい学校へ 足どりも軽く(来島小学校)

### Q 学校給食は町内産で A 積極的に地産地消を

伊藤議員  
給食素材は、直ちに安全・安心なものに切り替えるべきです。契約栽培など供給方法を工夫し、農業の活性化のためにも、供給可能なものは、町内産に切り替えるべきです。また、米飯給食は週五日にするべきです。

### Q 住民主体の地域づくりを A 住民の参画で

伊藤議員  
自由闊達な討論のなかから、現在、真にその地域に必要なものを見つけていく活動が、全町の必要では。  
山崎町長  
「住民の参画によって育てる町」の実現のため、住民による地域活動、まちづくり活動の企画提案地区、自治区における行動計画の策定を重点施策として推進します。

中 稔教育長  
品質管理の徹底を行います。

地産地消は、安全性や農林業の活性化だけでなく、郷土愛など教育の一環として大きな意義があります。週五日米飯給食は、食育の面からも協議が必要です。

